緑のサポーター交流広場「みどりのカフェ」レポート

２月２７日（火）**みどりのレッスン**を開催しました。

今回は、ハーブ研究家の古澤正美先生から、
「色や香りを楽しもう～ポプリのつくり方～」
を学びました。

始めにポプリに向く花で寄せ植えをしました。
その後、ポプリづくりについて教えていただきました。
まずは、「素材集め」・・・香りのよいキレイな色のものなら何でもOKですが、紙のように薄い花びらが向くそうです。肉厚のものは避けましょう。
きれいに咲いているときに摘んで、重ならないように広げ、室内の風通しのよいところで乾燥させます。1週間ほど乾かしたら、完成です。乾くと3分の1くらいに小さくなるそうです。
仕上げに電子レンジに30秒ほどかけ、完全に水分をとばしてください。
次に、「ビンに入れて保存」・・・乾かした素材のほかに、香りのよいハーブやスパイス、柑橘類の皮などを一緒にビンに詰め、色や香りを楽しみます。木の実や貝がら、小石、鳥の羽などを飾り付けてもOKです。さらに保留剤を調合すると、長持ちするそうです。保留剤とは、ポプリの香りを統合し保つ役目のものです。

説明を聞いてから、実習です。
材料は、ラベンダー、バラ、センニチコウ、パンジー・ビオラ、スターチス、ミカンの皮、ローリエ、マツボックリ、ドングリなど
保留剤には、オリスルート（アヤメ科の根）と没薬ミルラ（樹脂）、塩を使いました。

テーブルごとにおしゃべりしながら飾り付け♪
同じ材料でも、それぞれ表情の異なるポプリが完成。
飾って、時々フタを開けて香りを楽しんでください。

＜作り方＞ジップロックに、塩（大さじ３）、オリスルート、すり潰した没薬、お好みの精油２～３滴を入れ、振ってよく混ぜる。（本来はこのまま1週間程度おき、熟成させる。）
ラベンダー、ミカンの皮、バラの花びらも混ぜる。
混ぜたものをビンの底に敷く。
ドライフラワーや木の実などを飾りつける。